

ファーマーズ・フォレスト

「もったいない」で会長賞

宇都宮食品廃棄減など評価

【宇都宮】市が進める「もったいない運動」に、工夫して楽しみながら取り組む団体や個人を表彰する「もったいないAWARD」(市もったいない運動市民会議主催)の表彰式がこのほど、市役所で行われ、道の駅うつのみやろまんちつく村を運営するファーマーズ・フォレストの「道の駅でもったいない活動」が最高賞の会長賞に輝いた。

もったいない運動は「ひと、もの、まち」を大切に
する「もったいない」の心

トは食品廃棄の軽減のほか、無駄が出ないよう効率的に資源を活用し、生ごみなどを再生利用している。生ごみから肥料を作り、その肥料で作物を育ててレストランで活用。レストランは食べ残しを減らす「もったいない残しま10(テン)」！運動にも参加している。同社は「たくさんの方の協力で、栄誉ある賞を頂くことができた。今後もエコと地産地消に心掛けていきます」としている。

このほか、特別賞に釜川プロムナード整備協議会「多くの人が訪れる、まちなかの憩いの場の整備」、市庁舎ロータリーフラワースクール「生ごみ・剪定枝の再利用で美しい花壇を」、宇都宮大学UUD「大学



表彰された4団体

生が行う宇都宮の魅力発信
「アクティビティ」が選ばれ
た。
(亀井勝)